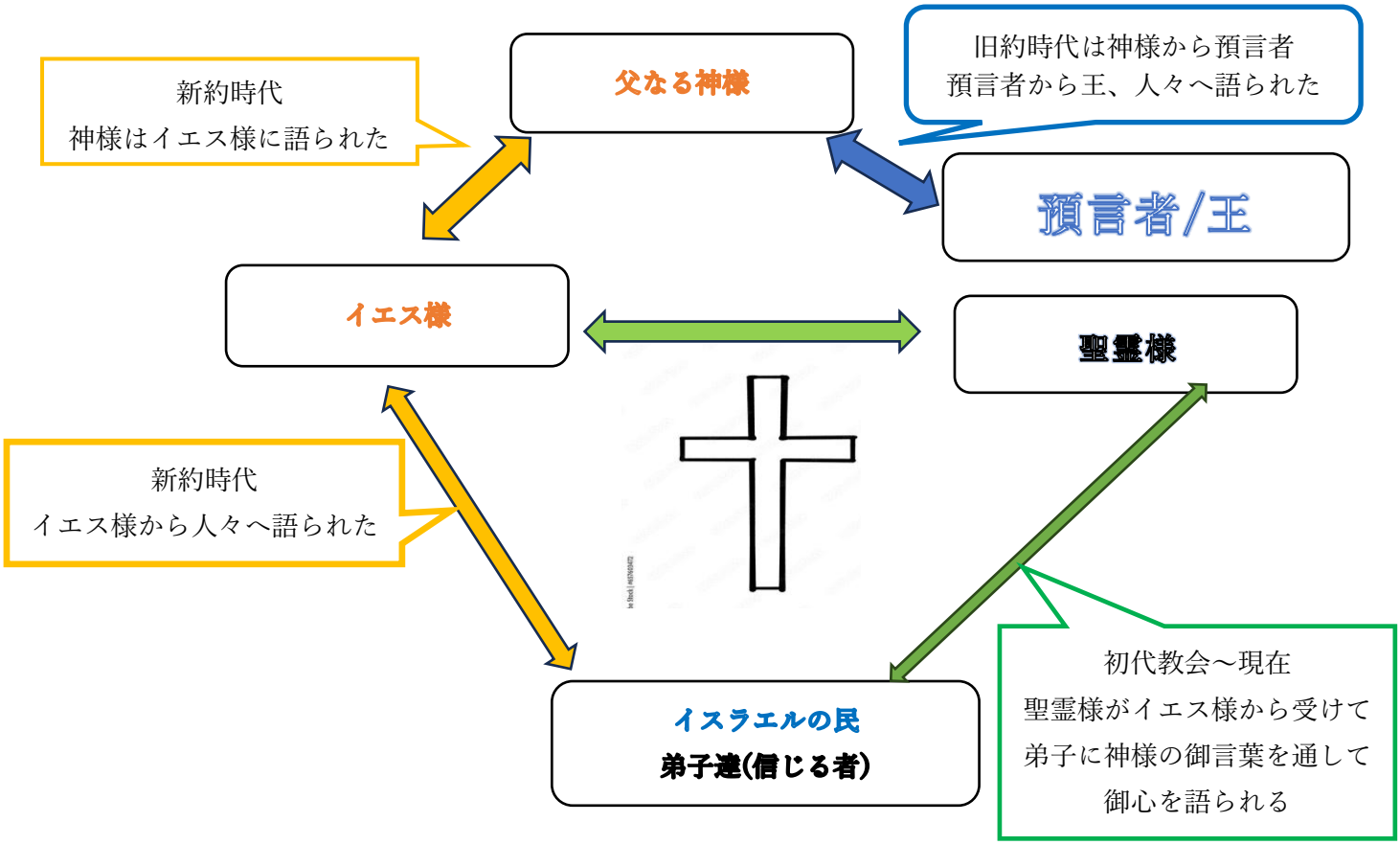


➔　イエス様の十字架によってもたらされた御業

1．私達の全ての罪を十字架で身代わりに負って下さった。罪を赦し、病を癒して下さった。

I ペテロ 2:24 そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。**キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです**:25 あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。

1 罪が赦される【自分中心の生き方】から神様中心へと方向転換する。
2 自分中心【罪】の生き方から、神様の願われる道【聖書に記される】生き方へと変えられた
3 国籍は天にあります。永遠の命が与えられた。

2．私達の罪が赦されて、神様との和解をもたらして下さった。

コロサイ 1:20 その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、ご自分と和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。

4．罪が赦されて、神様との交わりが可能となった。
【アダムとエバが罪を犯して、神様との交わりが断絶された】

3．イエス様の御名により、神様に祈り交わりを持つことが可能となった

ヨハネ 16:23 その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに告げます。**あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えになります。**:24 あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。**求めなさい。そうすれば受けるのです。**それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです。

5．イエス様の御名を通して神様に祈ることが可能となった。
何でも神様に祈り求めることができる。**神様は私達に願いを祈り求めて欲しい。**

4．イエス様が十字架にかかり、勝利されて昇天されて、聖霊様が降臨された

ヨハネ 16:7 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたにとって益なのです。それは、もしわたしが去って行かなければ、助け主があなたがたのところに来ないからです。しかし、**もし行けば、わたしは助け主をあなたがたのところに遣わします。**

6．聖霊様である助け主が与えられた
聖霊様を通して、イエス様の御言葉を知らせ、信仰生活を助け導かれるようになった。

➔ 私達が感謝するべきこと

1．「感謝」は年に一度ではなくて、毎日「感謝」しましょう
2．いつ、何に対して感謝しますか？
多くの人は健康や自分に与えられた良い環境や状況、備えなどがあった時のみ「感謝」しますが 3．聖書は「いつも全ての事について主に感謝しなさい」と教えています。
1）主の御業に感謝しましょう。十字架の御業
2）苦しい状況にあるときも感謝しましょう。**主の恵みと哀れみを先取り感謝しましょう。**
3，毎日感謝を書き出してみましょう。
神様ご自身のご性質と御業、哀れみ、恵など。苦しい中にあっても主の救いを信じて感謝しましょう
4．感謝の方法
1）主の御業に対して、感謝の心を持ち続けましょう。全知全能の主に感謝。
詩　139:14 私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです。私のたましいは、それをよく知っています。
2）賛美とほめ歌を主に捧げましょう。礼拝や集会に置いて。
詩　35:18 私は大きな会衆の中で、あなたに感謝し、強い人々の間で、あなたを賛美します。
3）感謝の献金を捧げましょう
詩　54:6 私は、進んでささげるささげ物をもって、あなたにいけにえをささげます。主よ。いつくしみ深いあなたの御名に、感謝します。
4）祈りをもって感謝のいけにえを捧げましょう。礼拝の中で、個人的な祈りの中で、家族の中で
詩　116:17 私はあなたに感謝のいけにえをささげ、主の御名を呼び求めます。
5）日々の会話の中で、感謝を口ずさみましょう。
否定的な事があっても口にすることなく、神様の御業を思い全てを益と変えてくださる神様を感謝するようにしましょう。
Ⅱ歴代誌 20:21 敵の前で賛美チームが賛美した「主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。」